

保育総合研究会広報誌 NO. 62



発行所：保育総合研究会事務局 H27. 10. 21

茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内

T E L 029-292-6868 F A X 029-292-3831

平成27年8月18日（火）午後1時から新潟市ホテルオークラ新潟4階コンチネンタルにおいて第52回定例会が行われた。

講演I 13:30~15:15

〈 テーマ 〉ほんとうの知的教育



本来、子どもは学びたがり・知りがり・やりがりであるだから保育士は上手に伸ばして欲しい。乳幼児期から「教育」が必要である。

[Q&A]

Q 将来、子どもが苦勞しないように小学校を意識して保育をしている？それとも今を大切に、保育をしているか？

A 小学校を、意識するからと言って先取りをしない。しかし小学校の勉強がどのように進んでいるかを知っておくこと。なぜならば、ひらがな等を学ぶスピードが速いため一年生から勉強が分からなくなってしまう。そうならないように基礎基本を保育園時代に学ぶ必要がある。

Q 子どもは教えなくとも時期がくればできるようになる。だからのびのび育てることが必要では・・・？

A 時期がくると、歩くことや運動することは教わらなくても自然にできる。しかし文字・数は勉強しないとできない。ただし、フラッシュカードのような一瞬で特色をつかみ知っていく方法で漢字や四文字熟語を覚えても9歳からは消えてしまう。

Q オオカミに育てられた子を例えて保育に引用していない・・・？

A まず、オオカミに育てられた子どもはいない。なぜならオオカミは人間の子どもをエサにする。この内容は、その子が人間のもつべき能力をもっていず、捨てられたと考えられる。引用して保護者を脅さないようにして欲しい。

Q 文字に興味をもたないと相談があった場合について安易に答えてしまう？

A 安易に大丈夫だとはいわない。文字があふれている環境の中で興味をもたない子どもはLDかもしれない。保護者と一緒になって心配や方法を考えること。

[まとめ]

文字や数をどのように教えていくか。保育士が、正しい知識をもって子どもと一緒に考えていく。例えば、色の名前は肌色からうすだいに呼び方が変わっている。これは肌の色からくる思想である。また、言葉を教える時に、さとう（さと〜）と「お〜」とのびる音は「う」と書く。けいと（け〜と）と「え〜」のびる音は「い」と書く等、伸びる音の書き方のルールを伝えていく。もちろん「おおかみ」「こおり」の例外も伝えていく色々な遊びの中を通して、無理なく文字や数に興味をもてるような保育をしていく。文字表現が違って読めるなどの工夫を保育でおこなう。保育園で、丁寧にまた子どもに合うように小学校を見据え、保育士が論理性をも保育をしていることを保護者に伝えていくことが大切である。

講演II 15:30~17:00

〈 テーマ 〉社会福祉法人改革について

〈 講師 〉厚生労働省社会・援護局福祉基盤課



1. 社会福祉法人改革の経緯

○社会福祉法人の位置づけ

社会福祉法人は、社会福祉事業を行う事を目的として社会福祉法人の規定に基づき、所轄庁の認可を受けて設立される法人（法第22条）

○社会福祉法人を取り巻く課題

社会福祉法人の運営に対する指摘

- ①福祉サービス内容の変容、措置から契約、多様な事業主体の参入
- ②他の事業主体との内部イコールフットング、留保の明確化、一部の法人の不適正の指摘
- ③公益法人税制の見直し、公益法人のあり方の議論

○改革の視点

- ①情報公開で透明性の確保
- ②評議員会による理事・理事会に対する牽制機能、権限・義務・責任明確化
- ③適正かつ公正な支出監理、再投下可能な座手さんの明確化等で財務規律の強化

○法人税の改革について

収益事業の範疇であっても、特定の事業者が行う場合に非課税とされている事業で、民間と競合しているもの（例えば社会福祉法人が実施する介護事業）については、その取扱いについては見直しが必要である。また、収益事業の規定方法については従来から現行の限定列举方式ではなく、対価を得て行う事業は原則課税、一定の要件に該当する事業を非課税とすべきとの指摘があり、このような方向での見直しも検討すべきである。

2. 社会福祉法等改正案について

○経営組織の在り方について評議員会を議決機関として必置、ガバナンスの強化を図る

（評議員会の議決事項）

・定款の変更 ・理事・監事・会計監査人の選任・解任 ・役員報酬の決定等

○事業運営の透明性向上

・財務諸表、現況報告書、役員報酬基準等の公表

○社会福祉法人の財務規律について

- ①適正かつ公正な支出管理（役員等の利益供与の禁止）
- ②社会福祉充実残額（再投下財産額）の明確化、公益事業の実施・拡充に係る計画作成

○地域における交易的な取り組み

